

北九州市公報

発行所
北九州市小倉北区内1番1号
北九州市役所

監査公表

定期監査

建設局及び区役所まちづくり整備課（工事監査）
……（監査公表第24号）…… 1

定期監査

建築都市局（工事監査）
……（監査公表第25号）…… 13

定期監査

子ども家庭局、区役所（総務企画課、コミュニティ支援課、市民課
国保年金課、保健福祉課、保護課、出張所）及び区選挙管理委員会事務局
……（監査公表第26号）…… 23

財政援助団体監査

財政援助団体
（社会福祉法人若松児童ホーム）
（社会福祉法人北九州市小倉社会事業協会高坊保育園）
公の施設の指定管理者
（NPO法人子ども未来ネットワーク北九州）
（玄海グリーン&アドベンチャー共同企業体）
……（監査公表第27号）…… 25

定期監査

建設局、交通局及び区役所まちづくり整備課
……（監査公表第28号）…… 28

財政援助団体監査

財政援助団体
（紫川マイタウンの会）
公の施設の指定管理者
（公益財団法人北九州市どうぶつ公園協会）
（グリーンパーク活性化共同事業体）
……（監査公表第29号）…… 31

財政援助団体監査

出資団体
（公益財団法人北九州市どうぶつ公園協会）
……（監査公表第30号）…… 33

財政援助団体監査

出資団体
（公立大学法人北九州市立大学）
……（監査公表第31号）…… 40

北九州市監査委員

北九州市監査委員	江 本	均
同	廣 瀬	隆 明
同	香 月	耕 治
同	福 島	司

地方自治法第199条第1項、第2項及び第4項の規定に基づき、定期監査を行ったので、同条第9項の規定により、その結果を公表する。

なお、この監査は、監査委員 江本 均、同 廣瀬 隆明、同 後藤 雅秀（平成29年2月9日任期満了）、同 三宅 まゆみ（同前）、同 香月 耕治（平成29年3月29日就任）、同 福島 司（同前）により行った。

1 監査の対象

今回の監査は、建設局及び区役所まちづくり整備課において施工する道路関係の工事（工事に伴う調査設計、除草・浚渫及びエレベーター・エスカレーターの設備点検等に係わる業務委託を含む。以下同じ。）で、平成27年11月16日から平成28年9月末日までに契約した本工事及び軽微な工事並びに平成27年度以前から平成28年度への継続工事を対象とした。

2 監査の方法

監査に必要な資料の提出を求め、表1、表2のとおり工事等を抽出し、それぞれ事務手続、計画・設計及び施工について、事務が適正に執行されているか等を主眼に、関係書類の調査及び現地調査を実施するとともに、関係職員から説明を聴取した。

表 1 工事の抽出（建設局）

工事区分	対象工事		抽出工事		備考
	件数	契約金額(千円)	件数	契約金額(千円)	
本工事 (委託業務を含む)	171	10,046,809	39	2,524,882	別表 1 参照
軽微な工事 (委託業務を含む)	233	162,886	19	28,517	別表 2 参照

表 2 工事の抽出（区役所まちづくり整備課）

工事区分	対象工事		抽出工事		備考
	件数	契約金額(千円)	件数	契約金額(千円)	
本工事 (委託業務を含む)	208	1,452,144	29	389,243	別表 3 参照
軽微な工事 (委託業務を含む)	1,446	2,009,299	28	56,368	別表 4 参照

3 監査の期間

平成 28 年 1 月 25 日から平成 29 年 4 月 26 日まで

4 監査の結果

(1) 建設局

監査の結果、工事の事務手続、計画・設計及び施工は、おおむね適正に行われていたが、一部に次のような事項が認められた。これらについては、適切な措置を講じられたい。

※ [] 内の数字は、「別表 1 本工事抽出一覧表」の番号を示す。

ア ガードパイプの設計について

(西部整備事務所工務第一課)

[3 5] 山手町藤木 1 号線道路改築工事 (2 7 - 1) 工事

本工事は、高塔山公園へのアクセス道路を車両が円滑に通行できるよう拡幅するものである。

道路の拡幅に伴い、ガードパイプ（土中建込）を歩道の全延長に設置する予定であったが、一部の区間において、埋込み深さの浅い簡易な基礎ブロックを使って、ガードパイプを設置していた。

「防護柵の設置基準・同解説」によると、「防護柵（ガードパイプ）を設

置するにあたっては、現地の地盤が予め設計で見込んだ支持力を有するかどうかを照査する必要がある。」とされているが、本工事においては、その検討がなされてなく、ガードパイプの安全性が不明であり、不適切であった。

ガードパイプの設置にあたっては、所定の基準等を遵守し、適切に行われたい。

(2) 区役所まちづくり整備課

監査の結果、工事の事務手続、計画・設計及び施工は、おおむね適正に行われていたが、一部に次のような事項が認められた。これらについては、適切な措置を講じられたい。

※ [] 内の数字は、「別表3 本工事抽出一覧表」の番号を示す。

ア 工事費の積算について

(八幡東区役所まちづくり整備課)

[20] 尾倉24号線歩道バリアフリー化整備工事

本工事は、八幡東区尾倉において、既存の歩道を拡幅し、バリアフリー化するものである。

土木工事においては、土木工事標準積算基準書(以下「基準書」という。)に基づいて諸経費率を算出し、工事費の積算を行っている。

本工事は、側溝の改良が主たる工種であり、「道路改良工事」の諸経費率を選択すべきであったが、「道路維持工事」の諸経費率を選択していた。また、施工地域区分も、「市街地」を選択して諸経費率を算出すべきであったが、「地方部」を選択しており不適切な積算となっていた。

工事の積算にあたっては、所定の基準書を遵守し適切に行われたい。

別表1 本工事抽出一覧表（建設局）

番号	部課名	工事名称 〈工事場所〉	工事概要	契約内容		
				方法	契約金額 (千円)	工期
1	道路部 道路維持課	都市モノレール小倉線 耐震補強工事(27-1) 〈小倉北区片野三丁目〉	RC支柱耐震 補強工	一般	205,042	27. 7. 16 28. 4. 28
2	道路部 道路維持課	都市モノレール小倉線 PC桁嵩上工事(27-5) 〈小倉南区富士見二丁目ほか〉	PC桁嵩上げ工	指名	64,934	27. 9. 17 28. 6. 15
3	道路部 道路維持課	都市モノレール小倉線 鋼桁他補修工事(27-7) 〈小倉南区志井一丁目ほか〉	鋼桁塗装塗替工、 鋼支柱塗装塗替 工	指名	81,136	28. 3. 31 28. 10. 28
4	道路部 道路建設課	恒見朽網線（曾根新田工 区）函渠工工事(27-1) 〈小倉南区曾根北町〉	函渠工	一般	45,327	27. 12. 24 28. 3. 15
5	道路部 道路建設課	国道3号（大川橋交差点） 大川橋（下流側）下部工工事 〈門司区大里東口ほか〉	逆T式橋台、場 所打ち杭、土留 工、作業構台他	一般	170,640	26. 11. 6 28. 11. 30
6	道路部 道路建設課	国道3号(大川橋交差点)大川 (上大川橋側)河川護岸工事(27-4) 〈門司区大里東一丁目ほか〉	河川護岸、仮 設道路他	一般	32,604	27. 12. 3 28. 8. 31
7	道路部 道路建設課	中貫長野1号線道路改良 工事(27-2) 〈小倉南区長野東町〉	擁壁工	一般	23,661	27. 10. 29 28. 5. 20
8	道路部 道路建設課	県道城野砂津線歩道バリア フリー化整備工事(27-1) 〈小倉北区片野新町三丁目〉	舗装、路床安定 処理、排水工	一般	38,775	27. 11. 19 28. 8. 15
9	道路部 道路建設課	曾根225号線他2線道路 改良工事(27-1) 〈小倉南区中曾根東四丁目〉	L型擁壁、路 床安定処理、 排水工	一般	100,667	27. 9. 3 28. 6. 30
10	道路部 道路建設課	楠橋楠北1号線橋梁下部 工工事(27-1) 〈八幡西区大字楠橋〉	場所打ち杭、壁 式橋脚	一般	158,381	27. 9. 17 28. 6. 30

番号	部課名	工事名称 (工事場所)	工事概要	契約内容		
				方法	契約金額 (千円)	工期
11	道路部 道路建設課	楠橋楠北1号線道路改良 工事(27-2) ＜八幡西区楠北二丁目＞	プラボードドレ ーン工、サンド マット	一 般	14,185	27.11.12 28.4.22
12	道路部 道路建設課	恒見朽網線(曾根新田工区)道路 除草・樹木撤去業務委託(28-2) ＜小倉南区大字曾根新田＞	除草、樹木撤去	指 名	2,190	28.8.2 28.9.30
13	道路部 街路課	桃園尾倉1号線他1線 道路詳細設計業務委託 ＜八幡東区尾倉二丁目ほか＞	道路詳細設計、 照明施設設計、 路線測量	指 名	11,515	27.9.3 28.5.31
14	道路部 街路課	城野駅北口線(駅前広場) 道路改築工事(27-2) ＜小倉南区城野一丁目＞	アスファルト舗装、ブ ロック舗装、側溝 工	一 般	47,568	27.9.10 28.5.20
15	道路部 街路課	戸畑枝光線(牧山枝光間) 橋梁下部工工事(27-2) ＜八幡東区大字枝光地内＞	橋梁下部工	一 般	82,536	27.10.15 28.8.31
16	道路部 街路課	城山西線道路改築工事 (27-1) ＜八幡西区黒崎城石ほか＞	道路改築工	一 般	121,694	27.11.5 28.11.15
17	道路部 街路課	3号線(両国橋)道路改築 工事(27-2) ＜八幡東区大蔵二丁目ほか＞	車道舗装工、 信号機基礎設 置工	指 名	69,017	27.11.19 28.7.31
18	道路部 街路課	日明渡船場線(日明工区) 道路改築工事(27-5) ＜小倉北区愛宕一丁目ほか＞	道路改築工	指 名	26,276	27.11.19 28.6.30
19	道路部 街路課	戸畑枝光線(牧山枝光間) 橋梁下部工工事(27-3) ＜八幡東区大字枝光地内＞	橋梁下部工	一 般	156,584	27.12.24 28.7.29
20	道路部 街路課	香月線歩道整備工事(27-3) ＜八幡西区香月西三丁目ほか＞	車道舗装、歩道 舗装	指 名	9,140	28.2.18 28.6.30

番号	部課名	工事名称 (工事場所)	工事概要	契約内容		
				方法	契約金額 (千円)	工期
21	道路部 街路課	日明渡船場線(下の浜橋) 橋梁下部工工事(27-7) <戸畑区中原東二丁目ほか>	橋梁下部工	一般	69,271	28. 3. 17 28. 11. 30
22	道路部 街路課	戸畑枝光線(牧山枝光間) 軟弱地盤改良工事(27-6) <戸畑区牧山海岸>	地盤改良工	一般	336,409	28. 4. 6 28. 12. 2
23	東部 整備事務所 工務第一課	小倉駅南北公共連絡通路高 天井改修基本計画業務委託 <小倉北区浅野一丁目>	高天井改修基 本計画	指名	3,683	28. 1. 25 28. 3. 31
24	東部 整備事務所 工務第一課	清水下到津1号線他1線 交差点改良工事 <小倉北区清水二丁目ほか>	車道舗装、歩道 舗装他	指名	17,874	27. 8. 7 29. 3. 15
25	東部 整備事務所 工務第一課	長行田町線(長尾小学校入口交 差点)交差点改良工事(27-1) <小倉南区長尾五丁目ほか>	舗装工、擁壁工 他	一般	26,363	27. 11. 12 28. 10. 31
26	東部 整備事務所 工務第一課	金田町横断歩道橋(大門金 田1号線)補修工事 <小倉北区金田一丁目ほか>	現場塗装、目隠 し板設置、階段 アーク補強他	指名	22,348	27. 12. 3 28. 5. 31
27	東部 整備事務所 工務第一課	国道199号西港歩道橋 撤去工事 <小倉北区西港町>	横断歩道橋撤去 工、仮設道路工	指名	30,363	28. 4. 14 28. 9. 30
28	東部 整備事務所 工務第二課	藪瀬橋(曾根鞆ヶ谷線) 橋梁補修工事 <小倉南区北方三丁目ほか>	断面修復工、 表面含浸工他	一般	73,138	27. 9. 17 28. 4. 28
29	東部 整備事務所 工務第二課	新門司大橋(柄杓田伊川1号線) 橋梁補修補強実施設計業務委託 <門司区新門司北一丁目>	橋梁補修補強設 計、耐震性能照 査、土質調査他	指名	21,295	27. 10. 15 28. 6. 15
30	東部 整備事務所 工務第二課	中の橋(砂津城内1号線) 橋梁塗装工事(27-1) <小倉北区馬借一丁目>	塗替塗装工他	一般	110,804	27. 10. 29 28. 6. 30

番号	部課名	工事名称 (工事場所)	工事概要	契約内容		
				方法	契約金額 (千円)	工期
31	東 部 整備事務所 工務第二課	樋ヶ峠隧道(直方行橋線) トンネル補修工事(27-1) ＜小倉南区大字道原ほか＞	漏水対策工、 裏込注入工、 はく落防止工	一 般	78,516	28. 3. 17 28. 11. 15
32	西 部 整備事務所 工務第一課	県道下到津戸畑線自転車 通行帯設置工事 ＜戸畑区浅生二丁目ほか＞	カラー舗装工、 区画線工	指 名	28,255	27. 12. 24 28. 3. 31
33	西 部 整備事務所 工務第一課	山路松尾町3号線道路 改築工事(27-2) ＜八幡東区山路松尾町＞	のり面整形工、 鉄筋挿入工	指 名	53,961	27. 9. 10 28. 6. 30
34	西 部 整備事務所 工務第一課	東二島47号線道路改築 工事(27-1) ＜若松区東二島四丁目＞	排水工、ボックス スカルバート 他	一 般	24,800	27. 10. 29 28. 4. 30
35	西 部 整備事務所 工務第一課	山手町藤木1号線道路 改築工事(27-1) ＜若松区大字修多羅ほか＞	ブロック積壁工、地 山補強土壁工、切土 法面種子吹付工他	一 般	94,707	28. 3. 17 28. 10. 31
36	西 部 整備事務所 工務第二課	畑隧道(小倉中間線)補修 工事(27-1) ＜八幡西区大字畑＞	空洞対策工(裏 込注入工:可塑 性エアモルタル)他	指 名	18,431	27. 11. 20 28. 4. 28
37	西 部 整備事務所 工務第二課	4号歩道橋(千代11号線) 橋梁補修補強工事 ＜八幡西区千代五丁目＞	上部工補修工 他	指 名	10,574	27. 12. 25 28. 5. 31
38	西 部 整備事務所 工務第二課	新折尾トンネル(国道199 号)補修工事(27-1) ＜八幡西区自由ヶ丘ほか＞	ひび割れ注入 工他	一 般	43,300	28. 3. 3 28. 9. 30
39	西 部 整備事務所 工務第二課	向江橋(中原西4号線) 橋梁補修工事 ＜戸畑区中原西三丁目ほか＞	下部工補修工、 上部工補修工	指 名	19,918	28. 3. 25 28. 9. 30
		計	39件	2,545,882千円		

別表2 軽微な工事の抽出件数及び契約金額一覧表(建設局)

部 名	課 名	件 数	金 額(千円)	適 要
道 路 部	道 路 維 持 課	1	2,229	<ul style="list-style-type: none"> ・ 信号機移設 ・ 舗装補修 ・ 道路改築 ・ 仮設歩道橋撤去 ・ 道路照明灯 LED 化 ・ 横断地下道補修
	道 路 建 設 課	3	6,125	
	街 路 課	3	7,419	
東 部 整 備 事 務 所	工 務 第 一 課	8	8,286	
西 部 整 備 事 務 所	工 務 第 一 課	2	2,868	
	工 務 第 二 課	2	1,590	
計		19	28,517	

別表3 本工事抽出一覧表（区役所まちづくり整備課）

番号	部課名	工事名称 〈工事場所〉	工事概要	契約内容		
				方法	契約金額 (千円)	工期
1	門司区役所 まちづくり 整備課	吉志 53 号線道路改良工事 (27-1) 〈門司区吉志七丁目〉	擁壁工、舗装 工、側溝工	指名	9,883	27. 11. 16 28. 3. 31
2	門司区役所 まちづくり 整備課	柳町 20 号線道路擁壁補修 工事 〈門司区柳町四丁目〉	擁壁工、舗装 工、側溝工	指名	15,416	27. 12. 11 28. 9. 30
3	門司区役所 まちづくり 整備課	平成 28 年度 J R 門司駅 公共通路昇降機修繕工事 〈門司区門司駅〉	エスカレータ 一修繕	指名	9,180	28. 8. 31 28. 11. 29
4	門司区役所 まちづくり 整備課	柄杓田大里線他道路除草 業務委託 〈門司区大字大里ほか〉	道路除草	指名	6,967	28. 6. 24 28. 10. 15
5	門司区役所 まちづくり 整備課	門司エリア昇降機保守 点検業務委託 〈門司区中町 6 番ほか〉	保守点検	随契	10,562	28. 3. 23 29. 3. 31
6	小倉北区役所 まちづくり 整備課	国道 199 号他除草清掃 業務委託 〈小倉北区西港町ほか〉	道路除草	指名	3,849	28. 6. 24 28. 9. 30
7	小倉北区役所 まちづくり 整備課	西港町 13 号線舗装補修 工事 〈小倉北区西港町〉	舗装工	指名	17,578	28. 8. 5 28. 10. 28
8	小倉北区役所 まちづくり 整備課	小倉駅小倉城口昇降機 保守点検業務委託 〈小倉北区浅野一丁目〉	保守点検	随契	3,693	28. 4. 1 29. 3. 31
9	小倉北区役所 まちづくり 整備課	小倉北区 JR 駅昇降機保 守点検業務委託 〈小倉北区浅野一丁目 1 番〉	保守点検	随契	38,880	28. 4. 1 29. 3. 31
10	小倉北区役所 まちづくり 整備課	魚町 11 号線道路改築 工事 〈小倉北区魚町三丁目〉	排水工、インター ロック舗装	指名	23,587	27. 9. 17 28. 8. 31

番号	部課名	工事名称 (工事場所)	工事概要	契約内容		
				方法	契約金額 (千円)	工期
11	小倉南区役所 まちづくり 整備課	直方行橋線他道路除草 業務委託 ＜小倉南区大字新道寺ほか＞	道路除草	指名	3,801	28. 6.24 28. 9.30
12	小倉南区役所 まちづくり 整備課	JR 下曾根駅他 1 箇所昇降機 保守点検業務委託 ＜小倉南区 JR 下曾根駅ほか＞	保守点検	随契	8,769	28. 3.30 29. 3.31
13	小倉南区役所 まちづくり 整備課	朽網 176 号線 (東部・環境) 側溝整備工事 ＜小倉南区朽網西五丁目＞	側溝工	指名	2,331	28. 4.19 28. 7.29
14	小倉南区役所 まちづくり 整備課	朽網東 34 号線他道路拡幅 工事 ＜小倉南区朽網東四丁目＞	舗装工、擁壁工	指名	25,733	28. 1.28 28. 6.20
15	若松区役所 まちづくり 整備課	国道 495 号 (変電所前～向洋 橋間) 中央分離帯舗装工事 ＜若松区大字安瀬ほか＞	透水性自然土 舗装、コンクリ ート舗装	指名	13,536	27.12.11 28. 3.15
16	若松区役所 まちづくり 整備課	中川町桜町 1 号線舗装 補修工事 ＜若松区桜町ほか＞	路面切削、舗 装、区画線	随契	11,868	27.12.10 28. 2.26
17	若松区役所 まちづくり 整備課	平成 28 年度本町歩道橋 昇降機保守点検業務委託 ＜若松区本町二丁目 17 番ほか＞	保守点検	随契	1,594	28. 4. 1 29. 3.31
18	若松区役所 まちづくり 整備課	深町 19 号線他道路除草 業務委託 (その 1) ＜若松区深町一丁目ほか＞	道路除草	指名	3,888	28. 6.28 28. 9.30
19	八幡東区役所 まちづくり 整備課	祝町 1 号線舗装補修工事 ＜八幡東区祝町二丁目＞	舗装工	指名	7,680	27.12.11 28. 3.15
20	八幡東区役所 まちづくり 整備課	尾倉 24 号線歩道バリアフ リー化整備工事 ＜八幡東区尾倉二丁目ほか＞	縁石工、排水 工、舗装工	指名	15,190	27.11. 6 28. 4.30

番号	部課名	工事名称 (工事場所)	工事概要	契約内容		
				方法	契約金額 (千円)	工期
21	八幡東区役所 まちづくり 整備課	北九州小竹線道路除草 業務委託 ＜八幡東区河内三丁目ほか＞	道路除草	指名	4,968	28. 7. 5 28. 9. 13
22	八幡西区役所 まちづくり 整備課	小倉中間線災害防除工事 (27-3) ＜八幡西区大字畑＞	剥ぎ取り補修 工、既設モルタル再生工	指名	15,866	27. 12. 25 28. 3. 31
23	八幡西区役所 まちづくり 整備課	南鷹見町3号線側溝整備 工事 ＜八幡西区南鷹見町＞	自由勾配側溝、 管渠型側溝、 表層	指名	18,306	27. 10. 30 28. 5. 10
24	八幡西区役所 まちづくり 整備課	鷹の巣17号線歩道バリア フリー化整備工事 ＜八幡西区鷹の巣一丁目ほか＞	側溝蓋、歩車道 境界ブロック 撤去工	指名	35,490	27. 11. 26 28. 8. 31
25	八幡西区役所 まちづくり 整備課	本城駅前他昇降機保守 点検業務委託 ＜八幡西区力丸町ほか＞	保守点検	随契	10,847	28. 3. 15 29. 3. 31
26	戸畑区役所 まちづくり 整備課	浅生高峰1号線歩道改良 工事 ＜戸畑区浅生一丁目＞	舗装工、排水構 造物工、重力式 擁壁工	指名	23,109	27. 12. 28 28. 8. 31
27	戸畑区役所 まちづくり 整備課	浅生23号線歩道設置 工事 ＜戸畑区浅生一丁目＞	舗装工、排水構 造物工、擁壁工	指名	19,970	28. 3. 18 28. 9. 30
28	戸畑区役所 まちづくり 整備課	H28年度戸畑エリア昇降 機保守点検業務委託(H) ＜戸畑区汐井町ほか＞	保守点検	随契	10,134	28. 3. 30 29. 3. 31
29	戸畑区役所 まちづくり 整備課	浅生高峰1号線道路舗装 工事 ＜戸畑区浅生一丁目＞	車道舗装工、路 面切削工	指名	16,568	28. 6. 3 28. 9. 21
計				29件	389,243千円	

別表4 軽微な工事の抽出件数及び契約金額一覧表(区役所)

部 名	課 名	件 数	金額(千円)	適 要
門 司 区 役 所	まちづくり整備課	3	5,385	<ul style="list-style-type: none"> ・擁壁設置 ・照明LED化 ・舗装補修 ・法面保護 ・災害復旧 ・災害防除 ・エレベーター監視システム設置 ・ポンプ場水中ポンプ修繕 ・道路照明灯灯具取替 ・薄層舗装 ・ペDESTリアンデッキ補修 ・歩道整備
小倉北区役所	まちづくり整備課	4	8,091	
小倉南区役所	まちづくり整備課	5	8,368	
若松区役所	まちづくり整備課	3	6,589	
八幡東区役所	まちづくり整備課	4	8,252	
八幡西区役所	まちづくり整備課	6	12,533	
戸畑区役所	まちづくり整備課	3	7,150	
計		28	56,368	

北九州市監査委員	江本均
同	廣瀬隆明
同	香月耕治
同	福島司

地方自治法第199条第1項、第2項及び第4項の規定に基づき、定期監査を行ったので、同条第9項の規定により、その結果を公表する。

なお、この監査は、監査委員 江本均、同 廣瀬隆明、同 後藤雅秀（平成29年2月9日任期満了）、同 三宅まゆみ（同前）、同 香月耕治（平成29年3月29日就任）、同 福島司（同前）により行った。

1 監査の対象

今回の監査は、建築都市局（計画部、指導部、整備部、折尾総合整備事務所及び建築部）において施工する営繕及び土木工事（工事に伴う調査設計、除草、浚渫及びエレベーター・エスカレーターの設備点検等に係わる委託業務を含む。以下、同じ。）で、平成27年10月16日から平成28年9月30日までに契約した本工事及び軽微な工事並びに平成27年度以前から平成28年度への継続工事を対象とした。

2 監査の方法

監査に必要な資料の提出を求め、表1のとおり工事等を抽出し、それぞれ事務手続、計画・設計及び施工について、事務が適正に執行されているか等を主眼に、関係書類の調査及び現地調査を実施するとともに、関係職員から説明を聴取した。

表 1 工事の抽出

工事区分	対象工事		抽出工事		備考
	件数	契約金額(千円)	件数	契約金額(千円)	
本工事 (委託業務を含む)	470	19,803,703	75	10,661,700	別表1参照
軽微な工事 (委託業務を含む)	55	33,192	7	11,570	別表2参照

3 監査の期間

平成28年11月25日から平成29年4月13日まで

4 監査の結果

監査の結果、工事の事務手続、計画・設計及び施工は、おおむね適正に行われていた。

別表1 本工事抽出一覧表（建築都市局）

番号	部課名	工事名称 〈工事場所〉	工事概要	契約内容		
				方法	契約金額 (千円)	工期
1	整備部 学研都 市開発 事務所	学研北部歩道舗装工事（27-1） 〈若松区大字塩屋ほか〉	歩道舗装工	指名	23,891	27.12.03 28.03.15
2	整備部 学研都 市開発 事務所	学研北部宅地整備工事（27-1） 〈若松区大字塩屋ほか〉	宅地土工、道路工	一般	499,382	27.09.17 28.10.31
3	整備部 学研都 市開発 事務所	学研北部宅地整備工事（27-2） 〈若松区大字塩屋ほか〉	宅地土工、道路工	一般	395,615	27.09.17 28.10.15
4	整備部 学研都 市開発 事務所	学研北部歩道整備工事（27-4） 〈若松区大字塩屋〉	舗装工	指名	76,972	27.10.15 28.06.30
5	整備部 学研都 市開発 事務所	学研北部除草業務委託（28-4） 〈若松区大字塩屋〉	除草工	指名	1,717	28.09.02 28.10.20
6	折尾総 合整備 事務所 工事課	折尾土地区画整理事業法面 整備工事（27-1） 〈八幡西区堀川町〉	法面整備	指名	95,858	27.10.29 28.07.31
7	折尾総 合整備 事務所 工事課	折尾連立・筑豊本線埋戻工 事 〈八幡西区西折尾町〉	埋戻工、 暗渠排水 管工	指名	16,118	28.06.24 28.11.27
8	折尾総 合整備 事務所 工事課	日吉台光明線道路改築工事 （27-1） 〈八幡西区折尾一丁目〉	電線類地 中化工、 歩道舗装 工	指名	24,707	28.03.31 28.08.31
9	折尾総 合整備 事務所 工事課	折尾東西線他除草業務委託 （28-1） 〈八幡西区北鷹見町ほか〉	除草工	指名	1,992	28.06.15 28.08.19
10	建築部 建築課	北九州市立美術館改修工事 〈戸畑区西鞆ヶ谷町21番〉	改修	一般	748,518	28.03.11 29.06.19
11	建築部 建築課	ひびきの小学校等複合施設 新築工事 〈若松区大字塩屋793番 地3〉	新築	一般	2,018,845	27.10.06 29.01.31

番号	部課名	工事名称 〈工事場所〉	工事概要	契約内容		
				方法	契約金額 (千円)	工期
12	建築部 建築課	西部斎場大規模改修工事 (第1期) 〈八幡西区本城五丁目6番 1号〉	改修	一般	210,981	28.02.10 28.10.31
13	建築部 建築課	若松競艇場東スタンド棟改 修工事 〈若松区赤岩町13-1〉	改修	一般	1,381,573	27.03.11 28.06.03
14	建築部 建築課	中央図書館カフェテリア改 修工事 〈小倉北区城内4番1号〉	改修	指名	27,834	28.03.31 28.08.31
15	建築部 建築課	筑豊電気鉄道穴生駅下り昇 降路設置工事 〈八幡西区穴生一丁目〉	新築	随意	26,909	27.11.12 28.09.28
16	建築部 建築課	旧八幡図書館解体工事 〈八幡東区尾倉二丁目6番 2号〉	解体	指名	31,925	28.04.21 28.08.19
17	建築部 建築課	若松市民会館大規模改修工 事基本設計委託 〈若松区本町三丁目13番 1号〉	基本設計	指名	3,024	28.06.16 28.10.14
18	建築部 建築課	沼中学校大規模改修工事 (第1期) 〈小倉南区沼緑町一丁目1 番1号〉	改修	一般	164,160	28.06.16 28.10.14
19	建築部 建築課	若松競艇場特別観覧施設隣 選手宿舍サッシ改修工事 〈若松区赤岩町13番1 号〉	改修	指名	6,402	28.07.14 28.10.14
20	建築部 建築課	ひびきの小学校プール新築 工事 〈若松区大字岩屋739番 地3〉	新築	一般	88,657	28.04.21 28.11.17
21	建築部 建築課	(仮称)八幡小学校区放課 後児童クラブ新築工事 〈八幡東区中央三丁目9番 1号〉	新築	一般	48,978	28.07.14 28.12.26
22	建築部 建築課	浦中集会所建替工事 〈門司区大字恒見1359 番地の17ほか〉	新築、解 体	一般	51,516	28.06.02 29.03.06
23	建築部 建築課	ひびきの小学校等複合施設 新築屋外付帯その他工事 〈若松区大字塩屋739番 3〉	屋外付帯	随意	124,740	28.04.20 29.02.28

番号	部課名	工事名称 〈工事場所〉	工事概要	契約内容		
				方法	契約金額 (千円)	工期
24	建築部 建築課	小倉駅南北公共通路低天井 改修工事（小倉城口） 〈小倉北区浅野一丁目1番 1号〉	改修	指名	60,156	28.09.01 29.03.15
25	建築部 建築課	小倉南特別支援学校改修工 事 〈小倉南区若園四丁目1- 1〉	改修	指名	31,575	28.06.09 28.09.07
26	建築部 建築課	旧藍島小学校等解体工事 〈小倉北区藍島246番地 の3〉	解体	指名	59,928	28.06.09 28.11.06
27	建築部 施設保 全課	市営室町駐車場外壁フェン ス改修工事 〈小倉北区室町三丁目2 番〉	外壁フェ ンス改修 工事	指名	25,719	27.12.10 28.03.09
28	建築部 施設保 全課	日明東2号上屋改良工事 〈小倉北区西港町〉	カバー工 法による 屋根の改 良工事	一般	105,771	27.11.26 28.03.10
29	建築部 施設保 全課	浅野町ポンプ場屋上防水改 良工事 〈小倉北区浅野三丁目7番 20号〉	屋上防水 シートの 張替	指名	6,931	27.11.19 28.02.17
30	建築部 施設保 全課	門司中学校武道場非構造部 材落下防止工事 〈門司区丸山二丁目5番1 号〉	非構造部 材の耐震 化工事	指名	3,422	27.11.12 28.02.10
31	建築部 施設保 全課	市営天神島駐車場耐震補強 工事 〈小倉北区古船場町1番2 7号〉	耐震工事	指名	12,760	27.11.19 28.03.31
32	建築部 施設保 全課	江川小学校外壁改修工事 〈若松区大字乙丸5番地〉	外壁改修 工事	指名	46,460	27.11.19 28.03.18
33	建築部 施設保 全課	響ホール音響設備改修工事 〈八幡東区平野一丁目1番 1号〉	音響設備 改修工事	指名	32,076	27.10.29 28.03.31
34	建築部 施設保 全課	北九州国際会議場メインホ ール音響設備改修工事 〈小倉北区浅野三丁目9番 30号〉	音響設備 改修工事	指名	13,431	27.12.03 28.03.31

番号	部課名	工事名称 〈工事場所〉	工事概要	契約内容		
				方法	契約金額 (千円)	工期
35	建築部 施設保 全課	折尾東市民センター空調改 修工事 〈八幡西区光明二丁目2番 50号〉	空調の改 修	一 般	20,810	27.12.24 28.03.23
36	建築部 施設保 全課	平成27年度小倉北区JR 駅昇降機修繕工事 〈小倉北区浅野一丁目ほ か〉	昇降機の 修繕	随 意	79,660	27.11.18 28.03.18
37	建築部 施設保 全課	平成27年度戸畑駅昇降機 修繕工事 〈戸畑区汐井町1番ほか〉	昇降機の 修繕	随 意	67,716	27.10.28 28.03.11
38	建築部 施設保 全課	旧高崎家住宅他3件耐震予 備診断委託 〈八幡西区木屋瀬四丁目1 2番5号〉	耐震診断	指 名	1,263	27.10.30 28.02.27
39	建築部 施設保 全課	北九州市立文書館外壁等改 修工事(2期工事) 〈小倉北区大手町11- 5〉	外壁・屋 根等の改 修工事	指 名	6,048	28.07.28 28.10.18
40	建築部 施設保 全課	丸仁市場解体工事 〈若松区浜町二丁目355 番35〉	解体工事	指 名	11,340	28.07.14 28.10.12
41	建築部 施設保 全課	藍島火葬場解体工事 〈小倉北区大字藍島554 番地〉	解体工事	指 名	11,957	28.04.21 28.07.20
42	建築部 施設保 全課	香月スポーツセンター耐震 補強工事 〈八幡西区香月中央一丁目 9番1号〉	耐震補強 工事	指 名	8,691	28.09.15 28.12.29
43	建築部 施設保 全課	企救特別支援学校解体工事 〈小倉南区春ヶ丘10番3 号〉	解体工事	指 名	41,480	28.06.02 28.10.15
44	建築部 施設保 全課	日明積出基地積出上屋解体 工事 〈小倉北区西港町97番3 号〉	解体工事	指 名	15,238	28.08.04 28.11.22
45	建築部 施設保 全課	小倉南消防署耐震補強工事 及びトイレ等施設改修工事 〈小倉南区若園五丁目1- 3〉	耐震補強 工事	指 名	32,027	28.05.26 28.11.22

番号	部課名	工事名称 〈工事場所〉	工事概要	契約内容		
				方法	契約金額 (千円)	工期
46	建築部 施設保全課	上津役中学校校舎等解体工事 〈八幡西区上上津役三丁目 12番1号〉	解体工事	一般	162,568	28.06.16 28.11.13
47	建築部 施設保全課	足立中学校エアコン改修工事(1期) 〈小倉北区萩崎町3番1号〉	エアコン の改修	一般	14,433	28.06.30 28.09.28
48	建築部 施設保全課	黒崎体育館耐震補強計画委託 〈八幡西区藤田四丁目1-1〉	耐震補強 の計画	随意	1,350	28.06.09 28.12.05
49	建築部 施設保全課	旧安川邸活用案検討委託 〈戸畑区一枝一丁目〉	利活用に ついての 検討業務	随意	2,160	28.05.30 28.07.29
50	建築部 電気設備課	(仮称)戸畑D街区スポーツ 施設新築電気工事 〈戸畑区浅生二丁目1番〉	スポーツ 施設新築	指名	279,581	26.12.25 28.06.30
51	建築部 電気設備課	若松競艇場東スタンド棟改 修電気工事 〈若松区赤岩町13番1号〉	大規模改 修	一般	486,720	27.03.26 28.09.30
52	建築部 電気設備課	門司総合特別支援学校新築 電気工事 〈門司区矢筈町13番1号〉	校舎新築	一般	257,791	26.10.16 28.03.31
53	建築部 電気設備課	北九州特別支援学校校舎新 築電気工事 〈小倉南区春ヶ丘10番3号〉	校舎新築	一般	59,940	27.03.19 28.03.31
54	建築部 電気設備課	上津役中学校改築電気工事 〈八幡西区上上津役三丁目 12番1号〉	校舎等改 築	一般	130,604	26.10.16 28.03.15
55	建築部 電気設備課	則松中学校防音事業電気工 事及び則松中学校耐震補強 電気工事(第2期) 〈八幡西区則松三丁目5番 1号〉	防音事業	一般	52,645	26.10.16 27.12.31
56	建築部 電気設備課	八幡東消防署移転新築電気 工事 〈八幡東区大谷一丁目3番〉	消防署改 築	一般	116,756	26.10.16 28.03.15

番号	部課名	工事名称 〈工事場所〉	工事概要	契約内容		
				方法	契約金額 (千円)	工期
57	建築部 電気設備課	北九州メディアドームアリーナ照明用制御装置改修工事 〈小倉北区三萩野三丁目1番1号〉	制御装置の改修	一般	16,659	27.10.22 28.02.29
58	建築部 電気設備課	ひびきの小学校等複合施設新築電気工事 〈若松区大字塩屋739番3〉	校舎新築、防音事業	一般	252,180	27.10.22 29.03.31
59	建築部 電気設備課	西部斎場大規模改修電気工事(第1期) 〈八幡西区本城五丁目6番1号〉	大規模改修	一般	139,721	27.11.12 28.10.31
60	建築部 電気設備課	北九州市立美術館改修電気工事 〈戸畑区西鞆ヶ谷町21番1号〉	改修工事	一般	252,720	28.03.24 29.06.19
61	建築部 電気設備課	浅野1号線道路照明灯設置工事(27-4) 〈小倉北区浅野三丁目〉	道路照明灯設置	一般	33,034	28.01.28 28.06.30
62	建築部 機械設備課	食肉センター牛皮剥ぎ機更新工事 〈小倉北区末広二丁目3番7号〉	牛の皮剥ぎ機を更新するもの	指名	33,480	27.11.19 28.03.15
63	建築部 機械設備課	ひびきの小学校等複合施設新築機械工事 〈若松区大字塩屋739番3〉	新設工事及び防音事業等	一般	372,276	27.10.22 29.03.31
64	建築部 機械設備課	本城小学校大規模改修及び防音事業機械工事 〈八幡西区本城一丁目23番1号〉	大規模改修及び防音事業等	一般	192,240	27.11.12 28.01.16
65	建築部 機械設備課	吉田中学校及び南曾根中学校空調設備設置工事 〈小倉南区中吉田三丁目8番1号ほか〉	エアコンを設置	指名	33,787	27.11.12 28.06.15
66	建築部 機械設備課	石峯中学校及び向洋中学校空調設備設置工事 〈若松区今光一丁目12番8号ほか〉	エアコンを設置	指名	28,367	27.11.12 28.06.15

番号	部課名	工事名称 〈工事場所〉	工事概要	契約内容		
				方法	契約金額 (千円)	工期
67	建築部 機械設備課	高見中学校及び槻田中学校 空調設備設置工事 〈八幡東区高見四丁目4番 1号ほか〉	エアコン を設置	指名	32,038	27.11.12 28.06.15
68	建築部 機械設備課	中央中学校及び尾倉中学校 空調設備設置工事 〈八幡東区中央三丁目9番 2号ほか〉	エアコン を設置	指名	25,063	27.11.19 28.05.20
69	建築部 機械設備課	霧丘中学校空調設備設置工 事 〈小倉北区黒原三丁目17 番1号〉	エアコン を設置	指名	32,962	27.12.03 28.06.03
70	建築部 機械設備課	黒崎中学校空調設備設置工 事 〈八幡西区西鳴水一丁目1 番1号〉	エアコン を設置	指名	23,674	27.12.03 28.05.13
71	建築部 機械設備課	西部斎場大規模改修機械工 事(第1期) 〈八幡西区本城五丁目6番 1号〉	大規模改 修工事	一般	201,960	27.12.17 28.10.31
72	建築部 機械設備課	北九州市立美術館改修機械 工事 〈戸畑区西鞆ヶ谷町21- 1〉	改修機械 設備工事	一般	464,400	28.03.24 29.06.19
73	建築部 機械設備課	中央図書館カフェテリア改 修機械工事 〈小倉北区城内4番1号〉	店舗設置 のため、 改修を行 うもの	指名	5,452	28.04.21 28.09.30
74	建築部 機械設備課	西部斎場火葬炉改修工事 (3期) 〈八幡西区本城五丁目6番 1号〉	火葬炉の 改修	随意	157,680	28.06.08 28.12.15
75	建築部 機械設備課	星ヶ丘小学校空調設備設置 工事 〈八幡西区星ヶ丘二丁目7 番1号〉	エアコン の設置	指名	34,686	28.06.09 28.12.16
計			75件		10,661,700	

別表2 軽微な工事の抽出件数及び契約金額一覧表（建築都市局）

部 名	課 名	抽 出 工 事		摘 要
		件数	契約金額 (千円)	
計画部	都市交通政策課	1	1,975	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場改修 ・ 道路整備 ・ 管理柵設置 ・ シェルター設置
整備部	学術・研究都市開発事務所	2	3,701	
折尾総合 整備事務所	区画整理事業課	1	1,403	
	工事課	3	4,491	
合 計		7	11,570	

北九州市監査委員	江本均
同	廣瀬隆明
同	香月耕治
同	福島司

地方自治法第199条第4項の規定に基づき、定期監査を行ったので、同条第9項の規定により、その結果を公表する。

なお、この監査は、監査委員 江本均、同 廣瀬隆明、同 後藤雅秀（平成29年2月9日任期満了）、同 三宅まゆみ（同前）、同 香月耕治（平成29年3月29日就任）、同 福島司（同前）により行った。

1 監査の対象

今回の監査は、子ども家庭局、区役所（総務企画課、コミュニティ支援課、市民課、国保年金課、保健福祉課、保護課、出張所）及び区選挙管理委員会事務局の平成27年度及び平成28年度（平成28年4月から同年10月末日まで）の収入、支出、契約、財産管理等の財務事務及びその他の事務の執行を対象とした。

2 監査の方法

上記事務に関する監査に必要な資料の提出を求め、当該事務が適正に執行されているか等を主眼に、抽出による関係書類等の調査を実施するとともに、関係職員から説明を聴取した。

3 監査の期間

平成28年11月9日から平成29年5月24日まで

4 監査の結果

(1) 子ども家庭局

監査の結果、事務は、おおむね適正に処理されていたが、一部に次のような事項が認められた。これらについては、適切な措置を講じられたい。

ア 契約事務

(ア) 委託契約事務について

(子育て支援課)

単価契約である先天性代謝異常等検査業務委託に係る契約事務において、必要な予定価格を単価で設定しておらず、見積書を徴する者に対して予定数量の提示も行っていなかった。

市契約規則によると、市長は、契約を行うにあたって、あらかじめ、事業の総額で予定価格を定めなければならないが、一定期間継続してする供給等の契約の場合には、単価で予定価格を定めることができるとしている。単価契約を結ぶには、予定価格を単価で設定するとともに、予定数量を示したうえで、単価による見積書を徴するべきである。適正な事務処理をされたい。

イ 財産管理

(ア) 公の施設の指定管理に係る備品管理について

(総務企画課)

北九州市立子育てふれあい交流プラザの管理運営は指定管理者に委託されているが、指定管理施設の備品のうち、大型遊具及び大型絵本が、課の備品管理台帳に登載されていなかった。これに伴い、指定管理に係る基本協定書の管理備品一覧にも登載されていなかった。

市会計規則及び物品管理要領では、所管に属する物品を適正かつ効率的に管理し、常にその使用状況を把握しておかなければならず、台帳等関係帳簿を正確に整備し、常に関係帳簿と照合・検査しておくこととされている。

適正な事務処理をされたい。

(2) 区役所

監査の結果、事務は、おおむね適正に処理されていた。

北九州市監査公表第27号
平成29年7月31日

北九州市監査委員 江 本 均
同 廣 瀬 隆 明
同 香 月 耕 治
同 福 島 司

地方自治法第199条第7項の規定に基づき、財政援助団体等監査を行ったので、同条第9項の規定により、その結果を公表する。

なお、この監査は、監査委員 江本 均、同 廣瀬 隆明、同 後藤 雅秀（平成29年2月9日任期満了）、同 三宅 まゆみ（同前）、同 香月 耕治（平成29年3月29日就任）、同 福島 司（同前）により行った。

1 監査の対象

(1) 財政援助団体

今回の監査は、北九州市（以下「市」という。）が財政援助をしている子ども家庭局所管団体のうち、次の2団体を抽出し、平成27年度及び平成28年度（平成28年4月から同年10月末日まで）に交付した補助金等に係る出納その他の事務の執行を対象とした。

（平成28年10月31日現在、単位：千円）

補助金等交付団体 名 称	補助金等名称	27年度 交 付 額	28年度 交 付 額	所管課
社会福祉法人 若松児童ホーム	民間児童養護施設 等運営補助金	2,587	2,578	子育て支援課
社会福祉法人 北九州市小倉社 会事業協会 高坊保育園	北九州市家庭支援 推進保育職員費用 補助金	7,580	3,669	保育課

※28年度交付額は、平成28年10月31日現在の交付済額。

(2) 公の施設の指定管理者

今回の監査は、市が公の施設の管理を行わせている子ども家庭局所管の指定管理者のうち、次の2団体を抽出し、平成27年度及び平成28年度（平成28年4月から同年10月末日まで）の公の施設の管理に係る出納その他の事務の執行を対象とした。

指定管理者名	施設名	指定期間	所管課
NPO法人子ども未来ネットワーク北九州	北九州市立子育てふれあい交流プラザ	平成26年4月1日～平成31年3月31日	総務企画課
玄海グリーン&アドベンチャー共同企業体	北九州市立かぐめよし少年自然の家	平成24年4月1日～平成29年3月31日	青少年課

2 監査の方法

(1) 財政援助団体

監査に必要な資料の提出を求め、当該事務が適正に執行されているか等を主眼に、抽出による関係書類等の調査を実施するとともに、関係職員から説明を聴取した。

(2) 公の施設の指定管理者

監査に必要な資料の提出を求め、当該事務が適正に執行されているか等を主眼に、抽出による関係書類等の調査を実施するとともに、関係職員から説明を聴取した。

3 監査の期間

平成28年11月9日から平成29年5月24日まで

4 監査の結果

(1) 財政援助団体

監査に当たっては、補助金等がその目的に沿って適正に執行されているか等に着目して実施した。

監査の結果、出納その他の事務は、おおむね適正に処理されていた。

(2) 公の施設の指定管理者

監査に当たっては、条例及び協定に沿って適正な管理が行われているか等に着目して実施した。

監査の結果、出納その他の事務は、おおむね適正に処理されていた。

北九州市監査委員	江 本 均
同	廣 瀬 隆 明
同	香 月 耕 治
同	福 島 司

地方自治法第199条第4項の規定に基づき、定期監査を行ったので、同条第9項の規定により、その結果を公表する。

なお、この監査は、監査委員 江本 均、同 廣瀬 隆明、同 後藤 雅秀（平成29年2月9日任期満了）、同 三宅 まゆみ（同前）、同 香月 耕治（平成29年3月29日就任）、同 福島 司（同前）により行った。

1 監査の対象

今回の監査は、建設局、交通局及び区役所まちづくり整備課の平成27年度及び平成28年度（平成28年4月から同年10月末日まで）の収入、支出、契約、財産管理等の財務事務及びその他の事務の執行を対象とした。

2 監査の方法

上記事務に関する監査に必要な資料の提出を求め、当該事務が適正に執行されているか等を主眼に、抽出による関係書類等の調査を実施するとともに、関係職員から説明を聴取した。

3 監査の期間

平成28年11月9日から平成29年5月24日まで

4 監査の結果

(1) 建設局及び区役所まちづくり整備課

監査の結果、事務はおおむね適正に処理されていたが、一部に次のような事項が認められた。これらについては、適切な措置を講じられたい。

ア 収入事務

(ア) 道路占用料等について

(門司区役所まちづくり整備課)

道路占用料等について、占用料又は道路掘削にかかる検査事務費の算定を誤っているものが相当数あった。

道路占用料等については、道路法及び市道路占用料徴収条例等により詳細に規定されている。

関係規程を確認するとともにチェック体制を強化し、適正な事務処理をされたい。

イ 支出事務

(ア) 公の施設の指定管理事務について

(道路維持課)

指定管理者に委託している市立自転車駐車場の施設維持管理業務について、①市の事前承諾なく第三者に再委託されていることを把握していながら指定管理者に再委託の申請を指示していなかったもの、②適切な記載内容に欠ける業務報告書(月報)及び事業報告書により履行確認をおこなっていたもの、があった。

市立自転車駐車場の管理運営に関する基本協定書では、指定管理者が指定管理業務の一部を第三者に委託する場合は、市の事前の承諾を受けることによって再委託が可能となっている。また、施設維持管理の実施状況や管理実績については、業務報告書(月報)や事業報告書により、指定管理者から報告させることになっている。

市指定管理者制度ガイドラインでは、指定管理者から再委託の申請があった場合は、慎重に可否を判断したうえで文書により行うこととなっている。また、指定管理者から提出された報告書などに基づき、業務の履行状況等の確認を行い、必要な水準の業務を実施していないと認められた場合には、業務の是正又は改善を指示することとなっている。

適正な事務処理をされたい。

(2) 交通局

監査の結果、事務はおおむね適正に処理されていたが、一部に次のような事項が認められた。これらについては、適切な措置を講じられたい。

ア 支出事務

(ア) 支払事務について

(総務経営課、営業推進課)

支払事務についてみたところ、振込依頼書の記載誤り等、所定の事務手続きを正しく行っていないことにより、過払いをしているものがあった。

市交通局会計規程では、正当な債権者に対する適正な支出であることを確認した後でなければ支出命令をすることができないとされている。また、支出命令書等に基づき、支払うものとされている。

事務の処理手順を整備し、適正な事務処理をされたい。

イ 契約事務

(ア) 契約事務について

(総務経営課、営業推進課)

契約事務についてみたところ、適切な専決権者による決裁が行われていないものが相当数あった。

市交通局事務専決規程では、局次長および課長等の専決事項をそれぞれ定めている。

適正な事務処理をされたい。

北九州市監査委員 江 本 均
同 廣 瀬 隆 明
同 香 月 耕 治
同 福 島 司

地方自治法第199条第7項の規定に基づき、財政援助団体等監査を行ったので、同条第9項の規定により、その結果を公表する。

なお、この監査は、監査委員 江本 均、同 廣瀬 隆明、同 後藤 雅秀（平成29年2月9日任期満了）、同 三宅 まゆみ（同前）、同 香月 耕治（平成29年3月29日就任）、同 福島 司（同前）により行った。

1 監査の対象

(1) 財政援助団体

今回の監査は、北九州市（以下「市」という。）が財政援助をしている建設局及び交通局所管団体のうち、次の団体を抽出し、平成27年度及び平成28年度（平成28年4月から同年10月末日まで）に交付した補助金等に係る出納その他の事務の執行を対象とした。

（平成28年10月31日現在、単位：千円）

補助金等交付団体 名称	補助金等名称	27年度 交付額	28年度 交付額	所管課
紫川マイタウンの 会	「紫川語り部屋形 舟」実施に伴う負担 金	1,300	1,400	建設局 水環境 課

※28年度交付額は、平成28年10月31日現在の交付済額。

(2) 公の施設の指定管理者

今回の監査は、市が公の施設の管理を行わせている建設局所管の指定管理者のうち、次の団体を抽出し、平成27年度及び平成28年度（平成28年4月から同年10月末日まで）の公の施設の管理に係る出納その他の事務の執行を対象とした。

指定管理者名	施設名	指定期間	所管課
公益財団法人北九州市どうぶつ公園協会	北九州市到津の森公園・ひびき動物ワールド	平成 26 年 4 月 1 日～ 平成 31 年 3 月 31 日	公園管理課
グリーンパーク活性化共同事業体	北九州市立響灘緑地	平成 26 年 4 月 1 日～ 平成 31 年 3 月 31 日	公園管理課

2 監査の方法

(1) 財政援助団体

監査に必要な資料の提出を求め、当該事務が適正に執行されているか等を主眼に、抽出による関係書類等の調査を実施するとともに、関係職員から説明を聴取した。

(2) 公の施設の指定管理者

監査に必要な資料の提出を求め、当該事務が適正に執行されているか等を主眼に、抽出による関係書類等の調査を実施するとともに、関係職員から説明を聴取した。

3 監査の期間

平成 28 年 11 月 9 日から平成 29 年 5 月 24 日まで

4 監査の結果

(1) 財政援助団体

監査に当たっては、補助金等がその目的に沿って適正に執行されているか等に着目して実施した。

監査の結果、出納その他の事務は、おおむね適正に処理されていた。

(2) 公の施設の指定管理者

監査に当たっては、条例及び協定に沿って適正な管理が行われているか等に着目して実施した。

監査の結果、出納その他の事務は、おおむね適正に処理されていた。

北九州市監査委員	江 本 均
同	廣 瀬 隆 明
同	香 月 耕 治
同	福 島 司

地方自治法第199条第7項の規定に基づき、財政援助団体等監査を行ったので、同条第9項の規定により、その結果を公表する。

なお、この監査は、監査委員 江本 均、同 廣瀬 隆明、同 後藤 雅秀（平成29年2月9日任期満了）、同 三宅 まゆみ（同前）、同 香月 耕治（平成29年3月29日就任）、同 福島 司（同前）により行った。

1 監査の対象

今回の監査は、北九州市（以下「市」という。）が資本金、基本金等の4分の1以上を出資している団体のうち、公益財団法人北九州市どうぶつ公園協会を抽出し、平成27年度及び平成28年度（平成28年4月から同年10月末日まで）の事業における出納その他の事務の執行を対象とした。

2 監査の方法

上記事務に関する監査に必要な資料の提出を求め、当該事務が適正に執行されているか等を主眼に、抽出による関係書類等の調査をするとともに、関係職員から説明を聴取した。

3 監査の期間

平成28年11月9日から平成29年5月24日まで

4 事業の概要及び監査の結果

(1) 公益財団法人北九州市どうぶつ公園協会

ア 事業の概要

(ア) 目的

公益財団法人北九州市どうぶつ公園協会（以下「協会」という。）は、公園をはじめとした各種都市施設などの管理運営事業を通じ、健康で豊かな市民生活の実現のほか、都市機能の増進に寄与することを目的として、昭和48年4月1日に財団法人北九州市都市整備公社として設立され、平成25年4月1日に公益財団法人に移行後、平成26年4月1日に現在の名称に変更している。

(イ) 現況

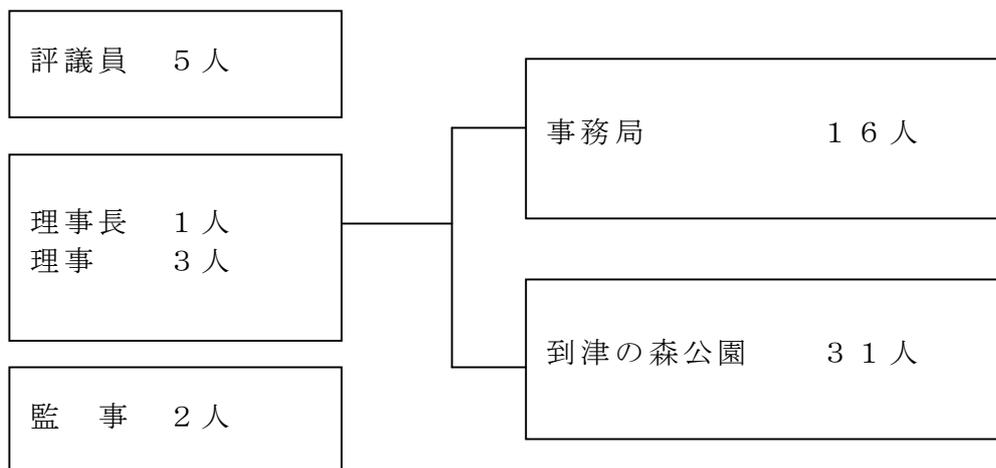
協会は、前記の事業目的を達成するため、市から公園の指定管理施設の管理運営を受託するとともに、自主事業として駐車場運営事業等を実施している。

業務実績、貸借対照表、正味財産増減計算書は、表1、表2及び表3のとおりである。

(ウ) 組織

協会の組織及び職員数は、次のとおりである。

(平成28年10月31日現在)



(エ) 市との関係

市は、協会の基本財産2億円を全額出捐するほか、到津の森公園等の管理運営について協会を指定管理者としている。

平成27年度、市は協会に委託料1億3,705万円を支出している。また、平成28年度は10月末までに委託料7,316万円を支出している。

イ 監査の結果

監査の結果、出納その他の事務は、おおむね適正に処理されていた。

協会の平成27年度の収支状況を見ると、当期一般正味財産増減額は1,539万円であり、前年度と比べると2,433万円増加した。

収益は、前年度と比べ、経常収益が3,310万円の増加となった。これは、人件費増による指定管理料の増加や売店の直営化により事業収益が増加したことなどによるものである。また、過年度の退職給付引当金の修正処理を行ったことなどで、経常外収益が前年度と比べ855万円の増加となった。

費用は、前年度と比べ、経常費用が2,395万円の増加となった。これは、職員の新規採用による人件費の増や売店直営化による物品仕入費用の発生により事業費が増加したことなどによるものである。

今後も、安定的な収入の確保や経費削減等による効率的な経営を図り、豊かな市民生活の実現に向けて自然環境教育の推進等に努めることを期待する。

表1 業務の実績（平成27年度）

1 公益目的事業

事業名	主な事業内容	入園者数 (人)	指定管理料 (千円)	事業費 (千円)
到津の森公園・ひびき動物ワールド管理運営事業		466,767	137,047	391,354
到津の森公園	施設運営事業 実施事業 動物ふれあい事業 動物サポーター事業 学習プログラム事業	385,125	98,217	331,224
ひびき動物ワールド	施設運営事業 動物ふれあい事業	81,642	38,830	60,130

2 収益事業

事業名	主な事業内容	収入金額 (千円)	事業費 (千円)
駐車場管理運営事業	月極駐車場 21箇所の運営 時間貸駐車場 1箇所の運営 (収容台数：1,314台)	79,986	52,943
遊戯施設管理運営事業	到津の森公園における遊戯施設 及び売店等の運営	127,604	108,395

表2 貸借対照表

(平成28年3月31日現在、単位：円)

科 目	平成27年度 決算額 (a)	平成26年度 決算額 (b)	差 引 (a)-(b)
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	184,391,859	155,375,635	29,016,224
未収金	13,220,384	7,411,127	5,809,257
有価証券	0	70,570,046	△70,570,046
前払金	91,900	109,905	△18,005
仮払金	378,000	0	378,000
商品	2,070,467	890,302	1,180,165
流動資産合計	200,152,610	234,357,015	△34,204,405
2. 固定資産			
①基本財産			
基本財産投資有価証券	200,000,000	200,000,000	0
基本財産合計	200,000,000	200,000,000	0
②特定資産			
経営安定化積立資産	110,250,259	110,250,259	0
退職給付引当資産	122,563,986	125,837,602	△3,273,616
減価償却引当資産	48,188,000	46,188,000	2,000,000
特定資産合計	281,002,245	282,275,861	△1,273,616
③その他固定資産			
投資有価証券	150,866,505	155,364,394	△4,497,889
定期預金	50,000,000	0	50,000,000
構築物	88,004,325	88,050,965	△46,640
構築物減価償却累計額	△83,259,747	△82,042,610	△1,217,137
車両運搬具	2,732,000	2,732,000	0
車両運搬具減価償却累計額	△2,680,491	△2,653,172	△27,319
工具器具及び備品	32,646,139	32,499,051	147,088
工具器具及び備品減価償却累計額	△32,116,221	△31,875,012	△241,209
無形固定資産	2,229,148	2,229,148	0
無形固定資産減価償却累計額	△2,168,929	△2,105,720	△63,209
その他固定資産合計	206,252,729	162,199,044	44,053,685
固定資産合計	687,254,974	644,474,905	42,780,069
資産合計	887,407,584	878,831,920	8,575,664

II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	39,751,058	37,306,281	2,444,777
未払消費税等	6,482,600	6,924,200	△441,600
未払法人税等	6,922,700	9,170,800	△2,248,100
前受金	4,976,600	5,528,600	△552,000
預り金	1,781,505	1,663,689	117,816
流動負債合計	59,914,463	60,593,570	△679,107
2. 固定負債			
退職給付引当金	122,563,986	125,837,602	△3,273,616
駐車場預り保証金	18,239,500	21,097,500	△2,858,000
固定負債合計	140,803,486	146,935,102	△6,131,616
負債合計	200,717,949	207,528,672	△6,810,723
III 正味財産			
1. 指定正味財産	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	686,689,635	671,303,248	15,386,387
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(158,438,259)	(156,438,259)	(2,000,000)
正味財産合計	686,689,635	671,303,248	15,386,387
負債及び正味財産合計	887,407,584	878,831,920	8,575,664

表3 正味財産増減計算書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日、単位：円)

科 目	平成27年度 決算額 (a)	平成26年度 決算額 (b)	差 引 (a)-(b)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	198,000	198,000	0
② 特定資産運用益	583,725	733,092	△149,367
③ 事業収益	573,946,164	540,716,181	33,229,983
④ 受取会費	6,327,000	6,735,000	△408,000
⑤ 雑収益	6,297,480	5,865,247	432,233
経常収益計	587,352,369	554,247,520	33,104,849
(2) 経常費用			
① 事業費	557,133,265	532,627,126	24,506,139
② 管理費	16,418,602	16,971,189	△552,587
経常費用計	573,551,867	549,598,315	23,953,552
当期経常増減額	13,800,502	4,649,205	9,151,297
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	8,558,904	8,633	8,550,271
経常外収益計	8,558,904	8,633	8,550,271
(2) 経常外費用	50,319	4,430,856	△4,380,537
経常外費用計	50,319	4,430,856	△4,380,537
当期経常外増減額	8,508,585	△4,422,223	12,930,808
税引前当期一般正味財産増減額	22,309,087	226,982	22,082,105
法人税等	6,922,700	9,170,800	△2,248,100
当期一般正味財産増減額	15,386,387	△8,943,818	24,330,205
一般正味財産期首残高	671,303,248	680,247,066	△8,943,818
一般正味財産期末残高	686,689,635	671,303,248	15,386,387
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	686,689,635	671,303,248	15,386,387

資料 協会

北九州市監査委員	廣瀬隆明
同	香月耕治
同	福島司

地方自治法第199条第7項の規定に基づき、財政援助団体等監査を行ったので、同条第9項の規定により、その結果を公表する。

なお、この監査は、監査委員 廣瀬 隆明、同 後藤 雅秀（平成29年2月9日任期満了）、同 三宅 まゆみ（同前）、同 香月 耕治（平成29年3月29日就任）、同 福島 司（同前）により行った。

1 監査の対象

今回の監査は、北九州市（以下「市」という。）が資本金、基本金等の4分の1以上を出資している団体のうち、公立大学法人北九州市立大学を抽出し、平成27年度及び平成28年度（平成28年4月から同年10月末日まで）の事業における出納その他の事務の執行を対象とした。

2 監査の方法

上記事務に関する監査に必要な資料の提出を求め、当該事務が適正に執行されているか等を主眼に、抽出による関係書類等の調査をするとともに、関係職員から説明を聴取した。

3 監査の期間

平成28年11月9日から平成29年4月26日まで

4 監査委員の除斥

江本均監査委員は、本件監査については、地方自治法第199条の2の規定により除斥とした。

5 事業の概要及び監査の結果

(1) 公立大学法人北九州市立大学

ア 事業の概要

(ア) 目的

公立大学法人北九州市立大学（以下「市立大学」という。）は、大学を設置及び管理することにより、産業技術の蓄積、アジアとの交流の歴史及び環境問題への取組といった北九州地域の特性を活かし、豊かな未来に向けた開拓精神に溢れる人材の育成及び地域に立脚した高度で国際的な学術研究拠点の形成を図り、もって地域の産業、文化及び社会の発展並びに魅力の創出に寄与するとともに、アジアをはじめとする世界の人類及び社会の発展に貢献することを目的としている。

(イ) 現況

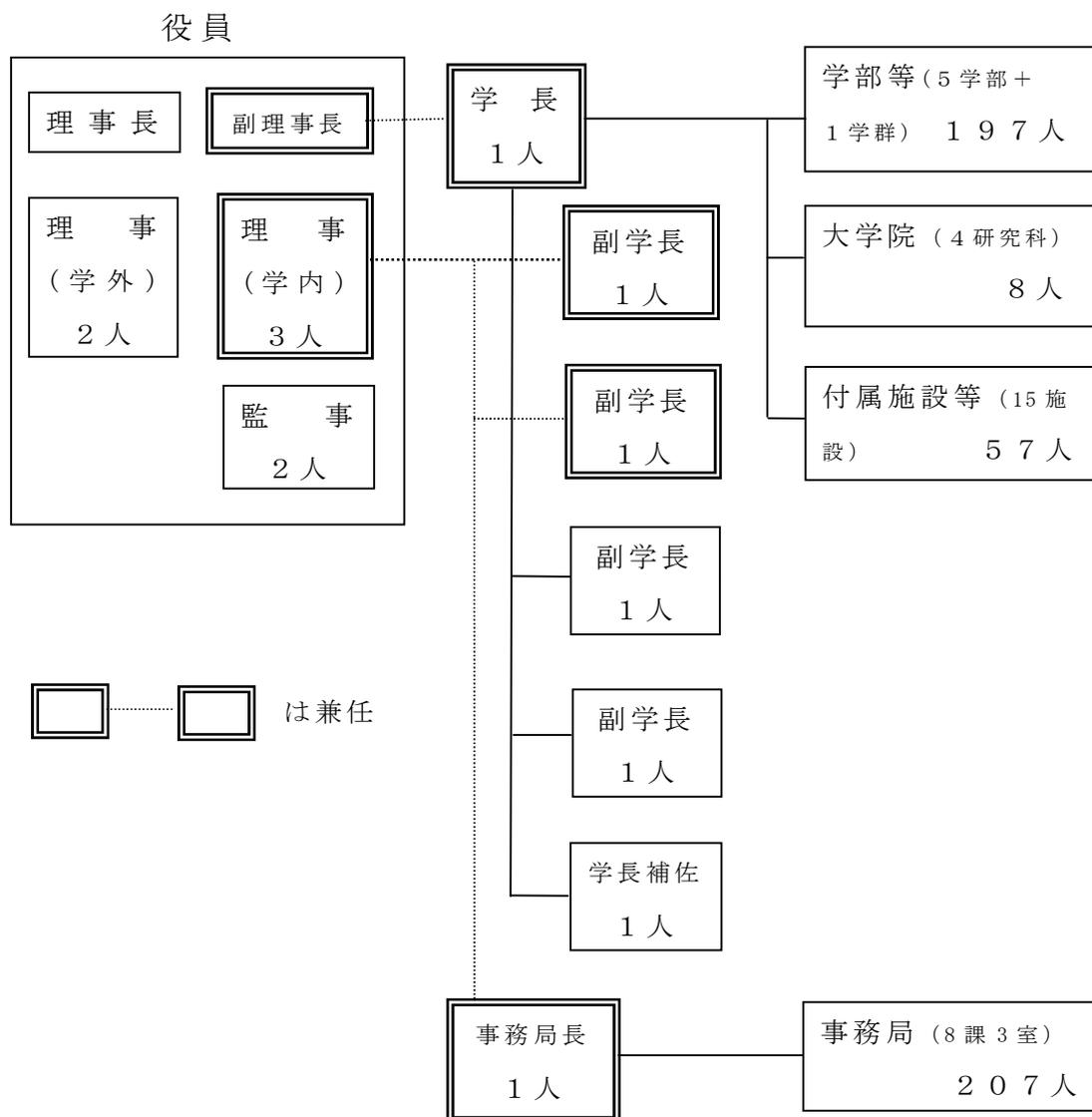
市立大学は、昭和21年に旧小倉市により創立された小倉外事専門学校を前身として、以後、学部の増設、再編を図りながら平成17年4月1日に公立大学法人へ移行した。現在、外国語学部、経済学部、文学部、法学部、国際環境工学部、地域創生学群の5学部1学群及び大学院で構成され、平成28年5月1日現在の学生数は6,671人となっている。

なお、業務実績、貸借対照表及び損益計算書は、表1、表2及び表3のとおりである。

(ウ) 組織

市立大学の組織は、次のとおりである。

(平成28年10月31日現在)



(エ) 市との関係

市は、市立大学の設立に当たり、資本金179億7,520万円を全額出資するとともに、大学運営にあたり、平成27年度は運営費交付金を18億6,781万円、施設整備補助金を12億899万円支出し、平成28年度は10月までに運営費交付金を17億4,800万円、施設整備補助金を3億1,489万円支出している。

イ 監査の結果

監査の結果、出納その他の事務は、おおむね適正に処理されていた。

平成27年度の市立大学の収支状況は、9,748万円の経常損失を計上したものの、2億5,804万円の目的積立金取崩収入があったため、1億6,056万円の総利益となった。

市立大学は、「地域に根ざし、時代をリードする人材の育成と知の創造」を目指して、平成23年度から平成28年度までの6年間における第二期中期計画を定め、「選ばれる大学への質的な成長」と「地域の発展やアジアをはじめとする国際社会の発展への貢献」に向けた取り組みを行ってきた。

今後とも、現在の取り組みを維持・向上させつつ、平成29年度からの第三期中期目標・計画の達成に向けて、質の高い教育・研究や大学の個性化の推進等に積極的に取り組まれることを期待する。

表1 業務実績（平成27年度）

1. 教育																																											
学部・学群教育の充実	<p>○ 基盤教育センター及び同ひびきの分室では、到達度別クラス編成による少人数教育や、TOEICなど公的資格の単位認定での活用等を通じて英語教育を推進し、平成26年度入学生の2年次修了時点でのTOEIC470点以上到達者の割合は、北方キャンパス（4学部）で51.5%、ひびきのキャンパス（国際環境工学部）で44.5%と目標値（それぞれ50%、35%以上）を達成した。</p> <p>○ 外国語学部英米学科では、英語学習法に関する講演会の開催や、1、2年次必修科目の担当教員による学習支援等に取り組んだ。また、学科内にTOEICスコア管理責任者を配置し、受験状況とスコアを管理するとともに、3、4年ゼミ生は、全教員がTOEIC受験状況やスコア、学習状況を把握し、TOEICスコア730点未到達者には指導を行った。この結果、平成24年度入学生の卒業時でのTOEIC730点以上到達者の割合は70.0%と目標値（50%）を大きく上回った。</p> <p>中国学科では、中国語検定過去問WEB等を教材に、基礎的かつ実践的な中国語運用能力の育成を図り、卒業時の中国語能力検定2級レベル以上到達者の割合は54.0%と目標値（50%以上）を達成した。</p> <p>また、北九州グローバルパイオニア（Kitakyushu Global Pioneers KGP）（文部科学省補助事業「グローバル人材育成推進事業」）においては、引き続き、北方キャンパス全学部・学群を対象に、KGPの全4プログラム（Start Up Program、Career English Program、Global Standard Program、Global Education Program）を実施した。</p> <p>○ 地域創生学群では、実習と演習を中心とした学習を通して、地域社会の様々な分野で指導的役割を担う人材が必要とする6つの能力の養成に取り組んだ。目標とした「卒業時にすべての能力で積極的かつ主体的に行動できる水準への到達者の割合90%以上」について、平成27年度卒業生の到達率は68.4%であったものの、能力伸長という観点では、入学時の32.9%から68.4%へと、35.5ポイントの大幅な伸びとなっている。</p> <p>また、平成27年度から、学生により高いレベルの能力を獲得させるため、3年生向けの新しい実習メニューとして、学生が自ら社会課題解決に向けた事業を企画し、1年間にわたって実施する「起業トライアルプログラム」、及び企業に週3、4日、フルタイムで勤務する長期インターンシッププログラム「リアル就職プログラム」を開始した。前者には4名、後者には5名がチャレンジし、その報告会を実施した。</p> <p>○ 国際環境工学部では、グループ単位のフィールドワークを取り入れた体系的なPBL教育科目などを通して、専門技術者として必要な5つの能力を養成した。</p> <p>また、北方キャンパスでは、環境に関する基礎的な知識等を有し、持続可能な社会づくりに貢献できる人材の養成を目的とする副専攻「環境ESDプログラム」（履修者25名）を推進するとともに、環境首都検定受検や環境関連施設見学を取り入れた授業科目「北九州学（環境都市としての北九州）」（受講者163名）を開講した。</p> <p>またなかESDセンターでは、市内の10大学・ESD協議会等と連携し、25の地域実践プログラムに取り組むなど、ESD活動を全市的に展開した。</p> <p>○ 福岡県高等学校進路指導研究協議会（北九州・京築地区、約50校が参加）における大学情報の発信や意見交換のほか、進学ガイダンスの拡充（宮崎、大分）等に取り組んだが、平成28年度一般選抜入試における実質倍率は2.5倍となり、目標値（2.8倍）を下回った。ただし、前年度の2.3倍より改善した。</p> <p><入試の状況></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>募集人員 (a)</th> <th>志願者 (b)</th> <th>受験者 (c)</th> <th>合格者 (d)</th> <th>入学者 (e)</th> <th>実質倍率 (c/d)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>885人</td> <td>4,510人</td> <td>3,159人</td> <td>1,242人</td> <td>979人</td> <td>2.5倍</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>885人</td> <td>4,257人</td> <td>2,911人</td> <td>1,279人</td> <td>980人</td> <td>2.3倍</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>882人</td> <td>4,645人</td> <td>3,230人</td> <td>1,241人</td> <td>961人</td> <td>2.6倍</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>882人</td> <td>5,037人</td> <td>3,453人</td> <td>1,261人</td> <td>953人</td> <td>2.7倍</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>882人</td> <td>5,331人</td> <td>3,656人</td> <td>1,197人</td> <td>908人</td> <td>3.1倍</td> </tr> </tbody> </table>	年度	募集人員 (a)	志願者 (b)	受験者 (c)	合格者 (d)	入学者 (e)	実質倍率 (c/d)	平成28年度	885人	4,510人	3,159人	1,242人	979人	2.5倍	平成27年度	885人	4,257人	2,911人	1,279人	980人	2.3倍	平成26年度	882人	4,645人	3,230人	1,241人	961人	2.6倍	平成25年度	882人	5,037人	3,453人	1,261人	953人	2.7倍	平成24年度	882人	5,331人	3,656人	1,197人	908人	3.1倍
年度	募集人員 (a)	志願者 (b)	受験者 (c)	合格者 (d)	入学者 (e)	実質倍率 (c/d)																																					
平成28年度	885人	4,510人	3,159人	1,242人	979人	2.5倍																																					
平成27年度	885人	4,257人	2,911人	1,279人	980人	2.3倍																																					
平成26年度	882人	4,645人	3,230人	1,241人	961人	2.6倍																																					
平成25年度	882人	5,037人	3,453人	1,261人	953人	2.7倍																																					
平成24年度	882人	5,331人	3,656人	1,197人	908人	3.1倍																																					
大学院教育の充実	<p>○ マネジメント研究科では、中華ビジネスに関する調査研究、地域の企業や行政機関等におけるグローバル人材の育成等を推進するために設置した「中華ビジネス研究センター」において、香港中文大学国際ビジネス研究センターやシンガポール南洋理工大学中華文化研究センターとの間で学術交流に関する覚書（MOU）を締結し、中華ビジネスに関する調査研究事業を推進した。</p>																																										

	<p>また、教員や修了生ネットワークを活用した広報活動に加え、北九州空港・JR小倉駅等に新たにPR広告を設置するとともに、インターネット広告サービスを活用するなど、多様なメディアを活用した広報を展開した。その結果、2年連続で志願者数が増加し、定員を充足した。（平成28年度入試：志願者数52名、合格者数36名、入学者数33名）</p> <p>○ 各研究科において、多様な入試説明会や積極的な広報活動等を行ったが、一部の研究科においては、入学定員充足率が低い結果となった。（大学院の定員充足率は0.84 ※社会システム研究科（博士後期課程）、国際環境工学研究科の10月入学者未算入）</p>															
<p>学生支援機能の充実</p>	<p>○ 地域共生教育センターでは、学生が地域活動を行うために必要とされる知識や地域の課題への対応力等を習得できるよう目標設定を行う「オリエンテーション研修」を実施するとともに、地域社会のニーズに対応する実践的な基礎力を高めるため、地域住民・団体等と連携した16の教育プログラムを実施した。</p> <p>また、東日本大震災関連プロジェクトにおいては、従来型の現地での支援活動や交流に加え、東北の海産物や物産品を北九州市内で販売し、売り上げの一部は義援金として送るなど、復興を支援する新しい活動に取り組んだほか、学生の地域活動を学内外に広く周知するとともに、更なる活動の活性化を図ることを目的として「地域活動発表会」を開催した。</p> <p>○ インターンシップは、大学独自パートナー企業として新たに国内で11社のインターンシップ先を開拓し、前年度より34名多い513名が参加した。そのうち、海外インターンシップは、前年度の18プログラムから24プログラムに拡大し、42名が参加した。</p> <p>また、就職ガイダンス、各種就職支援セミナー等、多様な取り組みを行った結果、就職決定率は98.6%（前年比0.6ポイント増）となった。これは平成元年度以降最高、かつ、4年連続で全国平均を上回る結果となった。</p> <p><就職決定率></p> <table border="1" data-bbox="357 999 1182 1077"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本学</td> <td>95.0%</td> <td>96.1%</td> <td>98.0%</td> <td>98.6%</td> </tr> <tr> <td>全国平均</td> <td>93.9%</td> <td>94.4%</td> <td>96.7%</td> <td>97.3%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	本学	95.0%	96.1%	98.0%	98.6%	全国平均	93.9%	94.4%	96.7%	97.3%
区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度												
本学	95.0%	96.1%	98.0%	98.6%												
全国平均	93.9%	94.4%	96.7%	97.3%												

<p>2. 研究</p>	
<p>研究の方向性</p>	<p>○ 新規創薬の分野で、引き続き、科学技術振興機構の産学共同実用化開発事業等（37,000千円）を活用するとともに、平成27年度は、新たに戦略的創造研究推進事業（CREST 58,500千円）を獲得した。また、エネルギー分野では、新エネルギー・産業技術総合開発機構の「地熱発電技術研究開発事業」（3年で総額70,000千円）を獲得するなど、研究開発体制を大きく進展させた。</p> <p>○ 環境技術研究所において、組織改正（10月1日付）を行い、研究活動を支援する研究支援部門、国際連携部門を設置するとともに、研究センター、技術開発センター群を統轄して研究を推進する研究統括部門を設置し、専任教員2名を配置した。</p> <p>また、新たに「社会支援ロボット創造研究センター」を設置し、介護ロボットシステムを専門とする環境技術研究所専任教員他国際環境工学部教員9名が参加しロボット分野の研究を推進した。</p> <p>○ アジア文化社会研究センターでは、中国などから研究者を招いて、アジアに関するシンポジウムや講演会などを行った。11月には、中国の復旦大学国際環境問題研究院より、任曉教授を本学に招き、講演会「China's Neighborhood Diplomacy（中国の周辺外交）」（参加者118名）等を開催した。</p> <p>○ 地域戦略研究所（旧都市政策研究所）では、「超小型モビリティを活用した地域交通マネジメントに関する研究」など5つのテーマで地域課題研究を、また、下関市立大学との関門地域共同研究で「関門地域における北九州空港の運営および利用に関する調査研究」など3テーマの研究を行った。</p> <p>また、(公社)日本プロサッカーリーグから「2015シーズン・Jリーグスタジアム調査業務」を受託するなど、7件の受託事業を実施した。</p> <p>○ 国際環境工学部では、産学連携フェアへの出展や企業向けセミナーの開催など産学官連携活動を実施した。</p> <p>また、国際環境工学部森田研究室のオリジナル麴を使った日本酒「ひびきのの杜」を溝上酒造との共同研究で1,000本作成した。作成にあたっては、酒造用米に北九州市内産「夢一献」、仕込み水に皿倉山麓の湧水を用い、ラベルデザインも本学OBのデザインを採用した。販売面でも、北九州市産業経済局食の魅力創造・発信室</p>

	の協力を得るなど、オール北九州の産学官連携商品として、市内百貨店、大学生協等で販売、完売した。
研究水準の向上	○ 科学研究費補助金等外部資金の申請義務化を継続して行ったほか、資金獲得促進のため説明会や勉強会を引き続き開催した。 また、組織横断的な研究推進に対する「学長選考型研究費」や、高額な備品の導入・更新を財政的に支援するための「研究基盤充実費」を新設し、さらには、「特別研究推進費」についても総額を拡大するなど、学術研究の支援体制を強化した。

3. 社会貢献	
地域社会への貢献	○ まちなかESDセンターを拠点に、市内10大学の連携・協力のもと、年齢や職業に関係なく学びたい人（まなびと）なら誰でも参加できる講座『まなびとキャンパス』や、大学生が地域や企業等の協力のもと、まちの課題に取り組む『まなびとプロジェクト』、大学生単位互換講座『まなびと講座』などを数多く開催し、平成27年度の利用者数は大学生や一般市民など約20,000人となった。 また、平成23年度から取り組んできた地域創生学群の「猪倉農業関連プロジェクト」では、これまでの成果を踏まえ、平成27年度は、地域住民やJA北九絆ファーム、北九州市と連携して、耕作放棄地でサツマイモを生産、このサツマイモを原料として、無法松酒造が市内初となる地場産サツマイモの芋焼酎「平尾台」「ほたるの里」を製造、販売するなど、産・学・地域が連携して、地域の魅力づくり、活力づくりに取り組んだ。 ○ 「消防・防災技術の開発と北九州」など理工系分野も取り入れた市民向け講座（10講座）を開講したほか、北九州地域産業人材育成フォーラムや中小企業大学校直方校等と連携し、フォーラムやセミナー、シンポジウムを開催した。 また、マネジメント研究科では、中華ビジネス研究センターにおいて、ビジネス現場で活躍している専門家を講師に迎え、企業の国際部門担当者や市民等を対象に東アジアのビジネス情報を提供する定例勉強会を4回開催した。
教育研究機関との協同	○ 「地域連携による『ものづくり』継承支援人材育成協働プロジェクト」において、医歯工連携プログラムを開設し、市内4大学の大学院で単位互換を実施した。 ○ まちなかESDセンターにおいて、市内10大学が、自らの大学の特色ある教育分野とESDを関連させた授業を開講し、単位認定を行った。また、持続可能な社会づくりを推進できる人材を育成・認証するための「まなびとマイスター制度」において、「まなびとリーダー」を前期12名（本学10名、九州女子大学2名）、後期1名（本学1名）認定したほか、新たに「まなびとマイスター」を2名（本学2名）認定した。 ○ 地域への若者の定着及び地元就職の促進を目指し、北九州市・下関市の13大学等、3自治体、3経済団体を事業協働機関とする「『北九州・下関まなびとびあ』を核とした地方創生モデルの構築」が文部科学省の「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」に採択された。この事業推進組織として都市政策研究所を改組し、地域戦略研究所を設置した他、学生の地元就職や起業支援等を行う「まなびとJOBステーション」を開設し、地元企業と学生の交流会「就活ワークカフェ」等を実施した。また、商工会議所や北九州市と共同で「会社合同説明会」を開催した。 ○ 文部科学省の国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム（都市インフラ技術を互恵的に活用できる国際的環境リーダー育成プログラム）など、公的制度を活用した留学生受入れを実施し、7名が国際環境工学研究科に入学した。 また、平成23年度から、留学生と地域の交流事業に取り組んできた成果として、6月に外国人留学生を支援するNPO法人「国際交流・フォーラムこくら南」（会員数28名）が設立され、留学生の一般家庭での日本文化体験や、地域住民と自国料理を介した交流などに取り組んだ。 新たに同済大学（中国）と交流協定を締結し、派遣留学を開始した。交流協定締結校は31大学1研究所（10か国1地域）となった。また、学生の海外留学の機会を充実するため、引き続き海外の大学等と協議を行い、留学先の開拓と留学生数の拡大に努めた。 さらに、学術協定締結校等への私費留学（バレンシア大学のプログラム）について、各学部における単位認定可能な科目を調整のうえ、単位認定制度を開始した。

4. 管理運営	
業務運営の改善及び効率化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校教育法改正にあわせ、学長等と教授会の権限の明確化、学部長等選考時における候補者への学長ヒアリングの実施、学部長等業績評価の導入、先駆的な管理職FDなど、学長の権限強化を図り、大学ガバナンス改革を大きく進展させた。 ○ 平成28年度予算編成にあたり、学長、副学長、事務局長等を委員とする予算方針会議を開催し、重点事業を選定するなど、選択と集中による戦略的な予算配分を行った。 ○ 国際環境工学部の1年生が、1学期の毎週木曜日に、大学が用意したシャトルバス等でキャンパスを移動し、北方・ひびきの連携科目を受講する「キャンパス交流Day」等を引き続き実施した。また、国際環境工学部の学生向けに小冊子「北方キャンパスマップ」を配布した。 ○ 職員配置については、計画的に市派遣職員をプロパー職員に転換するとともに、職員の基礎的な知識習得を目的とした研修や専門性を高めるための実務研修（市への派遣研修）などを行い、SDを推進した。研修にあたっては、市内4大学による共同研修も活用した。
財務内容の改善	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新たに文部科学省の補助事業「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」に代表校として申請し、採択されたほか、戦略的創造研究推進事業（CREST）、新エネルギー・産業技術総合開発機構の「地熱発電技術研究開発事業」などの新規獲得、また、経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援や大学間連携共同教育推進事業、国際環境工学部における科学技術振興機構の産学共同実用化開発事業等、各種補助事業の継続等により、外部資金を獲得した。 <p><外部資金獲得状況></p> <p>外部資金内訳／件数／金額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受託研究収入／20件／141,595千円 ・ 共同研究収入／37件／84,822千円 ・ 奨学寄附金収入／56件／47,599千円 ・ 受託事業収入／18件／25,357千円 ・ 補助金収入／31件／238,995千円 ・ 科学研究費補助金収入／113件／136,883千円 <p>計 275件 675,251千円</p>
自己点検・評価、情報提供等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大学機関別認証評価の受審にあたり、学長、評価室長を筆頭に全学的な体制で臨んだ。大学の教育研究等の総合的な状況についての評価である大学機関別認証評価では「大学設置基準をはじめ関係法令に適合し、大学評価・学位授与機構が定める大学評価基準を満たしている」との評価を受けた。 また、大学機関別選択評価においては、「地域貢献活動の状況」については、4段階評価の最上位の評価を、さらに、「教育の国際化の状況」については、上から2番目の評価（最上位の評価を受けた大学はなし）を受けた。 経営系専門職大学院認証評価においても、「適合」との認定を受けた。 ○ 平成28年度の本学創立70周年、ビジョンロゴマーク、3つのビジョン「地域」、「環境」、「世界（地球）」等について、北九州・福岡都市圏を重点エリアとした各種プロモーション活動を展開した。さらに、平成28年度の本学創立70周年を記念して、北方キャンパス正面玄関に創立70周年記念ウェルカムボードを設置した。 ○ 平成28年の創立70周年に向けて、実行委員会で企画した各種事業について、出版等事業部会では書籍『シリーズ北九大の挑戦』（全5巻刊行予定）の第3巻を刊行し、寄付金部会では同窓会、後援会会員、名誉教授、教職員等に対して払込取扱票（振込用紙）を送付したほか、幹部教職員による企業訪問を積極的に行った。 また、アジア未来会議部会では第3回アジア未来会議のキックオフイベントとなる「第50回SGRAフォーラム」を11月に開催するなど、各作業部会単位で活動を展開した。
その他業務運営	<ul style="list-style-type: none"> ○ 長期修繕計画及び耐震改修計画に基づき、1号館外壁改修及び屋上防水工事、4号館耐震補強工事等を実施した。 また、北方キャンパスの新図書館本館が平成28年2月末に竣工した。 新図書館本館は、地上4階建て、約3,840㎡で、図書館旧館と合わせて面積が約1.8倍、蔵書能力は約1.3倍（72万冊）となった。新本館1階部分には、学生の自主的・共同的な学修の場として、ラーニング・コモンズを整備し、平成28年4月に供用を開始した。

※実績数値については、特に年度の記載がないものは平成27年度の実績数値である。

表2 貸借対照表

(平成28年3月31日現在、単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増 減
資産の部			
I. 固定資産			
1. 有形固定資産			
土地	5,802,500	5,802,500	0
建物	14,322,329	12,963,115	1,359,214
建物減価償却累計額	△5,665,943	△5,178,490	△487,453
構築物	421,342	421,342	0
構築物減価償却累計額	△341,436	△327,727	△13,709
工具器具備品	3,650,470	3,359,264	291,205
工具器具備品減価償却累計額	△3,077,767	△2,871,357	△206,410
車両運搬具	15,909	15,909	0
車両運搬具減価償却累計額	△15,601	△15,096	△505
図書	2,509,721	2,502,333	7,388
美術品・收藏品	8,300	8,300	0
建設仮勘定	28,728	361,006	△332,278
有形固定資産合計	17,658,551	17,041,100	617,451
2. 無形固定資産			
ソフトウェア	138,761	132,727	6,034
その他の無形固定資産	214	214	0
無形固定資産合計	138,975	132,941	6,034
固定資産合計	17,797,527	17,174,041	623,485
II. 流動資産			
現金及び預金	1,650,035	1,777,694	△127,658
その他未収入金	56,503	63,592	△7,088
前払費用	982	994	△11
立替金	569	725	△155
仮払金	2,876	1,721	1,155
流動資産合計	1,710,968	1,844,728	△133,759
資産合計	19,508,496	19,018,769	489,726
負債の部			
I. 固定負債			
資産見返負債			
資産見返運営費交付金等	833,132	884,395	△51,263
資産見返施設費	452,963	515,585	△62,622
資産見返補助金等	26,154	38,726	△12,571
資産見返寄附金	151,679	42,579	109,100
資産見返物品受贈額	2,030,942	2,054,987	△24,045
建設仮勘定見返運営費交付金等	7,760	0	7,760
建設仮勘定見返施設費	16,968	361,006	△344,038
長期寄附金債務	84,902	345,873	△260,971
長期リース債務	148,926	121,682	27,244
固定負債合計	3,753,429	4,364,836	△611,407
II. 流動負債			
運営費交付金債務	4	2	1
預り補助金等	947	1,461	△513
寄附金債務	257,953	100,173	157,779
前受受託研究費等	47,003	4,315	42,687
前受受託事業費等	723	1,080	△356
未払金	586,877	516,388	70,489
リース債務	75,898	91,982	△16,084
未払費用	29,735	29,156	578

未払消費税等	0	4,102	△4,102
前受金	1,333	2,458	△1,124
預り科学研究費補助金等	21,216	17,024	4,192
預り金	91,021	90,120	900
流動負債合計	1,112,714	858,266	254,448
負債合計	4,866,144	5,223,102	△356,958
純資産の部			
I. 資本金			
地方公共団体出資金	17,975,200	17,975,200	0
資本金合計	17,975,200	17,975,200	0
II. 資本剰余金			
資本剰余金	1,701,077	276,366	1,424,710
損益外減価償却累計額 (△)	△5,667,786	△5,187,245	△480,541
損益外減損損失累計額 (△)	△108	△108	0
資本剰余金合計	△3,966,817	△4,910,986	944,168
III. 利益剰余金			
前中期目標期間繰越積立金	412,644	441,264	△28,619
教育研究向上・組織運営改善積立金	60,769	273,147	△212,377
当期未処分利益	160,555	17,041	143,513
(うち当期総利益)	(160,555)	(17,041)	(143,513)
利益剰余金合計	633,969	731,453	△97,483
純資産合計	14,642,351	13,795,667	846,684
負債純資産合計	19,508,496	19,018,769	489,726

表3 損益計算書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日、単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増 減
経常費用			
業務費			
教育経費	668,391	668,780	△388
研究経費	743,481	717,923	25,557
教育研究支援経費	266,563	223,405	43,158
受託研究費	167,810	195,427	△27,617
受託事業費	27,076	32,047	△4,970
役員人件費	65,624	65,707	△82
教員人件費	3,120,093	3,159,378	△39,284
職員人件費	1,104,027	1,090,634	13,392
一般管理費	869,747	858,493	11,253
財務費用			
支払利息	716	1,149	△432
経常費用合計	7,033,534	7,012,948	20,585
経常収益			
運営費交付金収益	1,867,807	1,983,336	△115,528
授業料収益	3,329,943	3,291,911	38,032
入学金収益	651,758	639,928	11,829
検定料収益	106,572	100,756	5,815
受託研究等収益			
国及び地方公共団体	10,424	14,112	△3,687
その他の団体	173,304	183,058	△9,754
受託事業等収益			
国及び地方公共団体	2,506	6,709	△4,202
その他の団体	31,189	36,129	△4,939
寄附金収益	108,814	31,799	77,014
施設費収益	128,314	129,771	△1,456
補助金等収益	238,993	209,052	29,940
資産見返負債戻入			
資産見返運営費交付金等戻入	81,644	81,018	626
資産見返施設費戻入	62,622	55,290	7,331
資産見返補助金等戻入	13,087	14,137	△1,049
資産見返寄附金戻入	9,218	9,581	△363
資産見返物品受贈額戻入	24,045	44,494	△20,448
財務収益			
受取利息	2	11	△8
有価証券利息	12	61	△49
雑益			
財産貸付料収益	37,155	36,046	1,108
講習料収益	2,032	1,700	331
科学研究費補助金間接経費収益	27,179	23,778	3,401
その他雑益	29,420	39,223	△9,802
経常収益合計	6,936,050	6,931,908	4,142
経常利益	△97,483	△81,040	△16,443
当期純利益	△97,483	△81,040	△16,443
目的積立金取崩額	258,039	98,082	159,956
当期総利益	160,555	17,041	143,513

資料 公立大学法人北九州市立大学